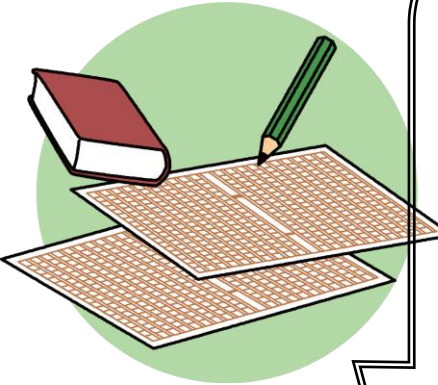


☆先生たちの学習体験談②☆

前回に引き続き、「大東中の先生達が、どんなふうに考えて勉強を頑張っていたのか」を紹介します！



金子隆智先生

Q：中・高時代はどんな目的で学習していましたか。

A：ライバルに追いつき、勝つため。

Q：先生の考える「中学生時代」（高校時代）の学習の意味とは？

A：中学生の時は、単純に「できた」ことが「楽しい」と感じていたので、たいした意味は考えていませんでした。（ほめられるとぐんと伸びる少年でしたが。）大人になって考えてみると、**進んで学習できるようになることが、若ければ若いときほど、より自由になれる**と思っています。**将来の選択肢が広がる**とも言えます。そして、地味な学習に楽しさやおもしろさを見つけれられる人を尊敬しています。

Q：中学生にお勧めしたい勉強法

A：1、独り言勉強法

ぶつぶつ覚えたいことを言いながら書く。

（「**言う**」と「**書く**」両方のアウトプットで記憶しやすい）

2、赤シートで隠す勉強法

暗記用の赤シートと青マーカーで**暗記したい部分を見えなくする**勉強法。はじめは少しだけマーカーで塗り、だんだんとそれを増やしていくと効果的。

3、イラスト勉強法

図にしたいイラストにしたいしてノートにまとめる方法。図やイラストに時間をかけすぎると逆効果。

Q：中・高時代はどんな目的で学習していましたか。

A：私の中学時代は、特に将来なりたいものもなかったので、何も考えずに言われたから勉強をしていました。国語や英語は苦手意識があったのでテスト前にワークを終わらせる程度でした。

そのかわり、**数学だけは他の誰にも負けないうくらい勉強していました。（好きだからというのもあるかもしれませんが・・・）**

テスト前や受験時期は、**友だちと勉強会**をしていました。**数学を教える代わりに英語が得意な友だちに英語を教えてもらっていました。**

Q：先生の考える「中学生時代」（高校時代）の学習の意味とは？

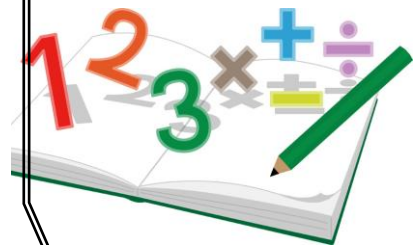
A：「**選択と判断**」だと思います。

勉強をすることで行ける高校や出来る仕事など、たくさんの**選択肢が広がります**。その**選択肢を広げて自分なりに考え、判断材料を増やすこと**が中学生時代や高校時代に学習をする意味だと思います。

Q：中学生にお勧めしたい勉強法（あれば）

A：暗記系は自分の**好きなことをしながら声に出して覚える！**

例えば、英単語や社会の用語をバスケットボールやサッカーの運動をしながら言うや替え歌にして歌う等・・・



今井智輝先生

お二人の先生のお話を聞いてみると、競い合える、高め合える仲間は大変大切な存在といえそうです。そんな仲間を大東中での生活の中で作っていききたいですね。

夏休みには**サマースタディ(勉強会)**も予定されています。仲間とともに、勉強に励む良い雰囲気を作っていきましょう。

